専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	歯科衛生士																
実 施 方 法	①（通学）（昼間）・夜間・土日） ②　通信　スクーリング（回数　　回）																
指 定 講 座 番 号	1	6	1	0	0	0	8	－	2	0	2	0	0	2	1	－	0
講 座 の 創 設 年 月 日 昭和 54年 4月 1日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和 11年 9月 30日まで					過 去 一 年 の 講 座 実 績		修了者数（ 19人 ）									
訓 練 期 間	36ヶ月							総 訓 練 時 間							2655時間		

1. 教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	■ 業務独占資格・名称独占資格（　歯科衛生士　） □ 職業実践専門課程（　　） □ キャリア形成促進プログラム（　　） □ 専門職大学院（　　） □ 職業実践力育成プログラム（　　） □ 情報通信技術関係資格（　　） □ 第四次産業革命スキル習得講座（　　） □ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科（　　） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	一般財団法人　歯科医療振興財団
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本学に3年間以上在籍し卒業単位(102単位以上)を修得したことにより卒業が認定されること
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	歯科衛生士として歯科診療所、総合病院歯科口腔外科、高齢者施設、保健センター等で活用される

2. 教 育 訓 練 の 内 容

教 科 （カリキュラム）	時 間	使 用 教 材 名
別紙（学科課程表）添付		

3. 受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度
③その他	

〔 特 記 事 項 〕

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度の修了者数	19	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	22	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	19	人	受験率(③/②)	86.4	%
④ ③のうち合格者数	19	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	18	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	1	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	86.4	%

※1　前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
　　この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2　受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、
　　修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		19 人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A:就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	1 人		1人
	3 その他の就業(自営業等)	人		
	4 非就業	18 人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人		0人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	19 人	④A:就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	人		
	3 その他の就業(自営業等)	人		19人
	4 非就業者	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	
	2 1割以上3割未満増加した	人		
	3 1割未満増加した	人		
	4 変わらない	1 人		
	5 1割未満減少した	人		
	6 1割以上3割未満減少した	人		
	7 3割以上減少した	人		1人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	10 人	⑥の回答数合計	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人		
	3 社内外の評価が高まる	1 人		
	4 早期に転職・再就職できる	6 人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	5 人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	7 人		
	7 趣味・教養に役立つ	6 人		
	8 その他の効果	人		
	9 特に効果はない	3 人		38人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	18 人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人		
	4 就職していない	人		18人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	9 人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	9 人		
	3 どちらとも言えない	1 人		
	4 やや不満	人		
	5 大いに不満	人		19人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	カリキュラムに沿った小テスト、実技試験　等にて習得度を確認している。結果に応じ補習を実施している。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6.　受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目の出席率が2/3以上かつ各科目の試験において60%以上の者に対し単位を与える(学則第27.29.30条)
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムに沿った小テスト、実技試験等にて習熟度を確認している。結果に応じ補習を実施している。
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	全ての授業科目において単位を取得した者について卒業を認定する(学則第32条)
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムに沿った小テスト、実技試験等にて修得度を確認している。結果に応じ補習を実施している。
7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問表を随時受け付け、希望に応じ個別指導を行っている
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格試験のための模擬試験の実施、就職のためのセミナー実施及び個別相談
8.　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	一般社団法人 富山県歯科医師会	(代表者名:　中道　勇　)	
住所及び連絡先	富山県富山市五福五味原2741-2	TEL	076-441-5355
施設名称及び施設長名	富山歯科総合学院	(施設長:　浦野　一郎　)	
住所及び連絡先	富山県富山市五福五味原2741-2	TEL	076-441-5355

苦情受付者	氏名　山本　吉博　所属　富山県歯科医師会事務局	事務担当者	氏名　土肥　妙子　所属　歯科衛生士科
連絡先	TEL　076-441-5355	連絡先	TEL　076-441-5355

専門実践教育訓練経費 支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1.　専門実践教育訓練給付金の対象となる経費　(① + ②)		2,117,442　円
	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		300,000　円
	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		1,817,442　円 第1期　469,222　円 第2期　250,000　円 第3期　319,825　円 第4期　250,000　円 第5期　278,395　円 第6期　250,000　円 (うち、必須教材費　317,442　円)
	2.　専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費　(① + ② + ③ + ④)		582,558　円
	①　任意の教材費(税込額)		0　円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0　円
	③　施設維持費(税込額)		300,000　円
	④　その他の経費　(税込額)		282,558　円
	3.　総額　(1+2)　(税込額)		2,700,000　円

2026年度　富山歯科総合学院　歯科衛生士科

学 科 課 程 表

講義:1時間　45分

教育内容	学科目	基準単位	授業単位	時間数 第1学年 前期	第1学年 後期	第2学年 前期	第2学年 後期	第3学年 前期	第3学年 後期	合計
基礎分野		10	11	135		30				165
科学的思考の基盤	生物	10	1	15						15
	化学		1	15						15
人間と社会生活の理解	心理学		1		15					15
	国語Ⅰ		1	15						15
	国語Ⅱ		1		15					15
	歯科英語		2			30				30
	英会話		1	15						15
	保健体育		1	15						15
	美術		1		15					15
	コミュニケーション学		1	15						15
専門基礎分野		22	23	315		45				360
人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解剖学	4	1	15						15
	生理学		1	15						15
	生化学		1		15					15
	栄養指導		1	15						15
歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学Ⅰ	5	1	15						15
	口腔解剖学Ⅱ		1	15						15
	口腔解剖学Ⅲ		1	30						30
	口腔生理学		1		15					15
	組織・発生学		1	15						15
疾病の成り立ちと 回復過程の促進	病理学	6	2		30					30
	薬理学		2		30					30
	微生物・口腔微生物学		2	30						30
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	7	2	30						30
	口腔衛生学Ⅱ		1		15					15
	衛生統計学		1			15				15
	衛生・公衆衛生学		2	30						30
	衛生行政		1			15				15
	社会福祉		1			15				15
専門分野		54	59	475		750		650		1875
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	2	2	30						30
臨床歯科医学	歯科臨床概論・歯科医療倫理Ⅰ	9	1	15						15
	歯科臨床概論・歯科医療倫理Ⅱ		1			15				15
	保存修復学		1		20					20
	歯内療法学		1		30					30
	歯周治療学		1		30					30
	歯科補綴学		1		30					30
	矯正歯科学		1		30					30
	口腔外科学		1			30				30
	小児歯科学		1		20					20
	歯科口腔放射線学		1			15				15
	高齢者歯科学		1			15				15
	障害者歯科学		1			15				15
歯科予防処置	う蝕予防処置Ⅰ	8	1		30					30
	う蝕予防処置Ⅱ		1			30				30
	歯科予防処置Ⅰ		1	30						30
	歯科予防処置Ⅱ		2		60					60
	歯科予防処置Ⅲ		2			60				60
	口腔保健管理		1					30		30
歯科保健指導	保健指導Ⅰ	7	1	30						30
	保健指導Ⅱ		2		60					60
	保健指導Ⅲ		1			45				45
	保健指導Ⅳ		1				15			15
	保健指導Ⅴ		1					15		15
	歯科栄養		1					20		20
	口腔介護学		1					30		30
歯科診療補助論	歯科診療補助Ⅰ	8	1	30						30
	歯科診療補助Ⅱ		1		30					30
	歯科診療補助Ⅲ		1			30				30
	歯科診療補助Ⅳ		1				30			30
	歯科診療補助Ⅴ		1					30		30
	救急蘇生		1			15				15
	臨床検査学		1			15				15
	医療事務		1			15				15
	介護学		1					30		30
臨地臨床実習	臨地臨床実習Ⅰ	20	9				405			405
	臨地臨床実習Ⅱ		11					495		495
選択必修分野		7	9			60		150		210
	医療情報処理技術	7	1					15		15
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技術		1					15		15
	音楽療法		1			15				15
	医療全般		1			15				15
	看護学		1				30			30
	臨床歯科学		4						120	120
合　　計		93	102	925		885		800		2610